

4月例会報告 「石倉山・八幡岳」 十和田市・青森市 標高891,1020m 担当：福田 英雄

期日： 2021年4月29日（日） 8：30集合

参加： 福田英雄、櫻田正行、石井 敏、大石忠秀、宮越貫至、会津エリ子、後藤悦子、葛西直子、山本留美子、小田桐 菊（体験参加）

『今日は、数日前からの雨の予報が外れ曇りですが風もなく、お試し参加の小田桐さんと一緒に計10名の山行です。リーダー福田さんのあいさつの後、七戸放牧場駐車場を9時30分に出発。石倉山は登山道がなく、県道394号線を田代十文字方面に300m程歩いて、北股沢を過ぎたあたりからガードレールをまたいで石倉山山頂を目指して入山。

350m程進んだところでスノーシューを装着。ここから200mの区間は約30°の急斜面で今日一番の難所、皆ハーハー言いながら約40分で登りきる。10時30分石倉山山頂（H:891m）に到着、北八甲田東側の絶景に感激し、記念写真を撮って皆でオレンジを食べて休憩。

10時50分八幡岳山頂を目指して出発。石倉山から2.1kmの所に、福田さんが命名した（仮称）名無し岳？（H:1018）がある。その手前150m区間は雪が消えてたためスノーシューを脱ぎ、笹藪を漕ぎながら約20°の斜面を登り12時15分名無し岳山頂に到着。ここで記念写真を撮り、葛西さんの美味しい漬物をいただきながら昼食。



今日は、福田さんが作った焼き物のカップでコーヒーを頂き、とても美味しかったです。

ここから八幡岳山頂（H:1020m）までの1.3km区間の稜線は、山頂の岳八幡宮に向かって15m前後の幅で木が生えていなく、勾配も比較的緩やかなほぼ平らな雪道である。

八幡岳の帰り、またここを通過して下山するのでリュックを置いて、12時55分八幡岳山頂の岳八幡宮目指して出発。右側に中部上北牧場の雪原、左側に北八甲田の絶景を見ながらの山行はとても素晴らしかった。

13時55分（仮称）名無し岳より下山。

14時35分県道394号線に到着、道路わきの小さな沢に塩ビ管が取り付けられた水飲み場があり、きれいな雪解け水がたくさん出ていた。

それぞれペットボトルに水を汲んで飲み、冷たくて美味しい水に歓声を上げていました。おもわずビールよりも美味いと叫んだ方も。やっと元気を取り戻し放牧場の駐車場まで一頑張り歩く。

14時50分駐車場着。 5時間20分、約8kmの楽しい山行でした。』

ネットで調べたら、（仮称）名無し岳 H:1018mと八幡岳 H:1020mの二つの山を併せて八幡岳と言うみたいです。地図では高い方の山を八幡岳と表記しています。



レポート by 宮越



山での茶の湯は最高♪ 葛西さんのお点前です



八甲田連峰をバックに記念写真

お待ちかねの昼食タイム

体験参加の小田桐さん



5月例会案内 「靄山_{152m}・尾崎山_{230m}」

青森県中泊町

担当：白戸三和子

1. 日時：5月22日（土） 7：30
2. 場所：サンピア集合
3. 移動：レンタカー
4. 会費：2,200円（10人参加の場合）
5. 締切：5月15日（土）
6. 申込：白戸三和子さん 017-718-1574
：電話での申込みは17時迄
7. その他：お風呂グッズの準備

靄山：青森県・津軽半島の東海岸から近い位置にある山で、整った三角錐の姿から、古代人が造ったという説もある山だ。山名の「モヤ」とは、里山の独立した山を指すという。山頂から眺望する海岸線は弓なりになって素晴らしく、南側に聳える岩木山も美しい。

尾崎山：青森県の津軽半島の東端、日本海に突き出た岬は権現崎（小泊岬）にある山。岬は日本海航路が栄えていた時代には、航海の目印になっていて、特徴ある断崖の上には尾崎神社が祀られ、今も信仰を集めている。山頂は展望がないが、東側に設置されている展望台からは日本海が一望できる。

2021年 県連夏季遭難対策講習会

担当：櫻田 正行

1. 日時：5月30日（日） 9：00～14：30
2. 場所：田代岱公共駐車場
3. 講師：清野嘉樹県連会長
4. 持ち物：昼食・飲み物・敷物
5. 締切日：5月22日（土）
6. 申込み：白戸三和子さん 017-718-1574
：電話での申込みは17時までをお願いします
7. その他：車のない方は、櫻田正行が個別に対応します



昨年の講習会の模様